

◆『舞台技術者養成講座[入門編]』修了実習・技術補助を体験…3/12(土)、13(日) 舞鶴市総合文化会館・大ホール

1月から始まった養成講座もいよいよ修了実習です。地元の音楽団体が出演する『Music Festival 2011』で、舞台・照明・音響の補助をします。

3/12(土)9:00仕込み(準備)開始。“おはようございます”(舞台では、朝はもちろん昼も夜も“おはようございます”)そのあいさつもすっかり板につきました。全体打ち合わせのあと全員で舞台の山台組み。その後、事前にチーム分けをしたとおり照明・音響チームに別れて仕込みます。

照明チームは、講師の片浦さん作成の仕込図に従ってスポットを吊り込み、フロント・シーリングのシュート(明かりあわせ)を行います。音響チームも仕込図のとおりマイク・モニタースピーカーを準備し、下手花道鳥屋口に仮設した音響卓へ結線して行きます。



打ち合わせ中



スポットを吊り込みます



SOCさんにご協力をいただいて

◆リハーサルの立ち会いと本番!!

仕込みも終了し、リハーサル前に舞台転換の流れを稽古してみます。ピアノの移動、イス、譜面台運び、マイクセットなど行い、リハーサルに立ち会います。各団体のリハーサルが終了したのが21:00。朝9:00から12時間あまり。受講者のみなさんは、長時間の作業で少々お疲れぎみの様子。本番での出演者の演奏の持ち時間は、わずか15分程度で、順番に入れ替わって行きますが、舞台の裏方はずっと付き合わなければなりません。この時間の長さにも、みなさん驚かれたようで、陰で支える裏方というものを少しは分かっていただけたのではないかと思います。

昨日のリハーサルを終え、いよいよ本番です。リハーサルの段取りのとおり、慌てることなく動きましょう。お客様が見ていますが気にせず確実に。開演すれば2時間なんてすぐ過ぎてしまいます。いざ始まればみなさん、各持ち場にてミスもなく、確実に自分の仕事ことができました。おつかれさま。



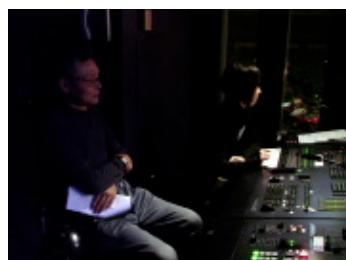
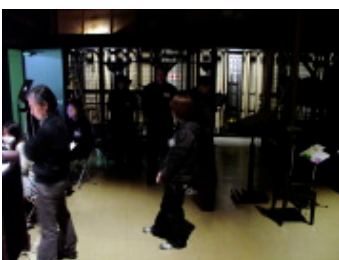
リハ中の舞台袖



調光卓の操作補助



サウンドチェック中



◆反省会

終演後の舞台撤収も完了し、反省会を行います。講師の片浦さんより全員に修了証をお渡しして、みなさんから受講した感想を話してもらいます。みなさん、とても楽しかったそうで、この夏の自身の発表会に多いに参考になったという方もいらっしゃいました。また、受講者同士で発表会のお手伝いに行く話もまとまっているようでした。これからも、何らかの形で、舞台に参加し、舞台をさらに好きになり、劇場へ足を運んでいただければと思います。

最後になりましたが、毎回遠く大津より舞鶴まで来ていただいた総合講師の片浦さん、音響特別講師の森さん、そして受講者の先輩でもある、篠山市のたんば田園交響ホールステージオペレータークラブ(SOC)のみなさん、ほんとうにお世話になりました。ありがとうございました。そして、受講者のみなさん、“おつかれさま”でした。



片浦さんより修了証書の授与



反省会



SOCのみなさんと片浦さん